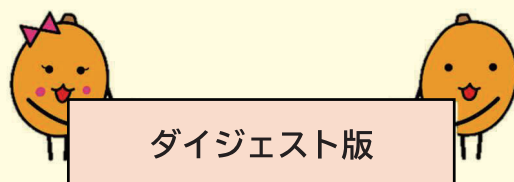
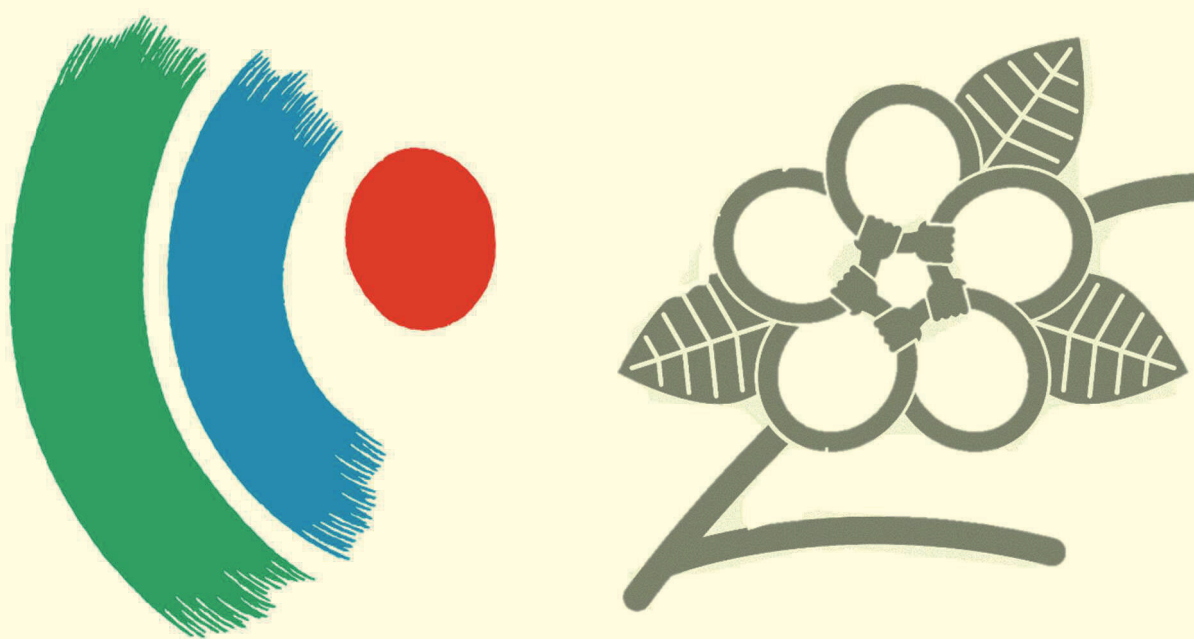


つながり 支えあい 共に生きるまち 岡垣

岡垣町福祉総合計画



令和6年3月

岡垣町・岡垣町社会福祉協議会

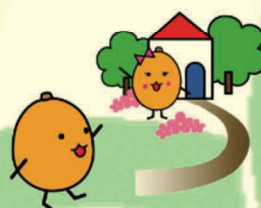
つながり 支えあい

基本目標

1. お互いに支えあう
つながりづくり
2. 地域福祉を支える
ひとづくり
3. 地域でともに生きる
環境づくり
4. 誰もが安心して暮らせる
体制づくり

お互いに
まち
地域づくり

地域福祉計画



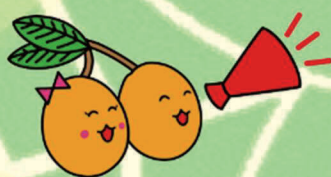
基本目標

1. 町民が生涯にわたって
元気に暮らす
2. 支えあいによる地域の
安全・安心の確保
3. 高齢者の暮らしを支える
福祉環境を整える

いつまでも住みなれた
地域で暮らせる
まちづくり編

高齢者福祉計画

福祉
総合



基本目標

1. 自分らしく安心して
暮らせる地域づくり
2. 誰もが自立し
活躍する地域づくり
3. 互いを認め合う
地域づくり

障がいの有無に関わらず
自分らしく暮らせる
地域づくり編

障がいのある人のための基本計画
障がいのある人のための福祉計画
障がいのある児童のための福祉計画



共に生きるまち 岡垣

基本目標

1. 必要な支援につながる地域づくり
2. 犯罪を未然に防ぎ再犯を防止する地域づくり



重層的支援体制の整備

複雑化・複合化する課題に対応するため、各分野の相談支援体制を維持しながら分野を横断して連携・協働する包括的な支援体制を整備します。

“生きづらさ”に
寄り添う
地域づくり編

再犯防止推進計画



すべての人の
権利を守る
体制づくり編

成年後見制度
利用促進基本計画

基本目標

1. 本人らしい生活を支える多様な主体が連携する仕組みづくり
2. 成年後見制度利用の推進

さまの
くり編
活動計画

社
計画

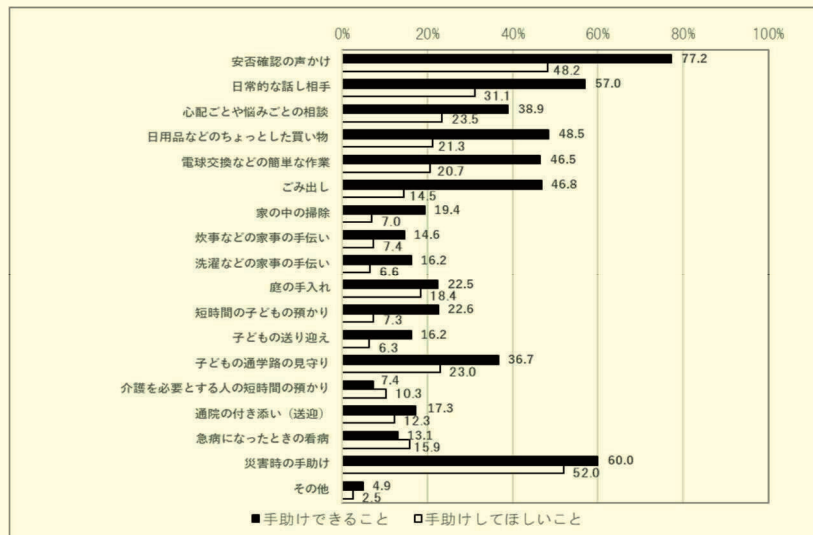




住民のみなさんの声

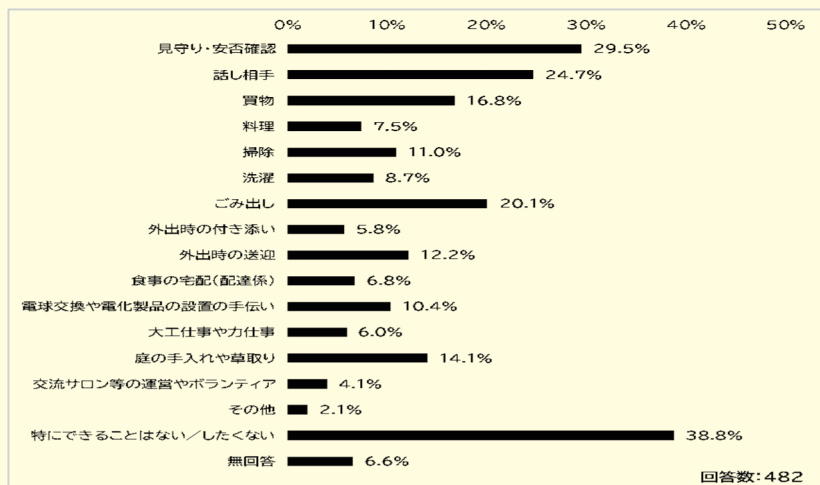


地域で「手助けできること」・「手助けしてほしいこと」



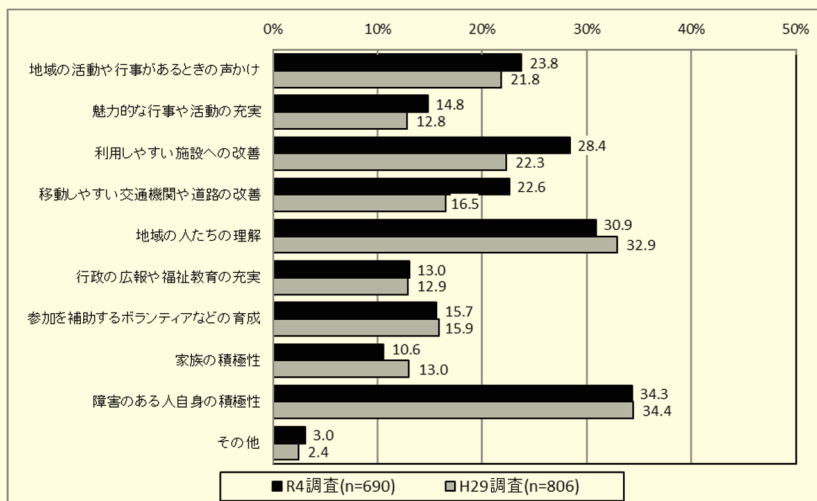
地域で困っている人がいるときに「手助けできること」と「手助けしてほしいこと」を尋ねたところ、「安否確認の声かけ」、「災害時の手助け」、「日常的な話し相手」と回答した人が多く、災害などの緊急時の支援や、ご近所同士のコミュニケーションを求めていることがわかります。

高齢者同士の生活ボランティアでできること



高齢者同士の生活ボランティアでできることとして、「見守り・安否確認」や「話し相手」、「ごみ出し」の割合が高くなっています。高齢者が日々の生活を送る上での「ちょっとした困りごと」を解決したいという気持ちがうかがえます。

障がいのある人の地域社会への参加に必要なこと



「障がいのある人自身の積極性」が最も多く、次いで「地域の人たちの理解」、「利用しやすい施設への改善」の順となっています（各種障害者手帳所持者等へのアンケート結果より）。

障がいのある人自身が地域社会へ参加しやすくなるように、障がいのある人に対する周囲からの理解や環境を整えていかなければならないことがわかります。



計画策定の背景と目的



本町では、「地域福祉計画」「高齢者福祉計画」「障がいのある人のための基本計画」「障がいのある人のための福祉計画」「障がいのある児童のための福祉計画」「子ども・子育て支援事業計画」等の個別の計画に基づき、様々な福祉施策を展開してきました。

一方で、少子高齢化や核家族化が進行し、住民相互のつながりが希薄化するなど、地域や家庭を取り巻く環境は大きく変化していくとともに、児童・高齢者、障がいのある人等に対する虐待、ひきこもり状態の長期化による8050問題、ダブルケアやヤングケアラー等の介護者支援の問題など、地域におけるニーズや困りごとは複雑化・複合化し、様々な地域課題が顕在化しています。

このような背景のもと、制度・分野ごとの縦割りや「支え手」、「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく社会を実現するため、「岡垣町福祉総合計画」を策定しました。



計画の基本理念・基本方針



基本理念

つながり 支えあい 共に生きるまち 岡垣

基本方針1

地域で支えあう
仕組みづくり

基本方針2

関係機関が連携した
支援の推進

基本方針3

地域活動を担う
人材の発掘・育成

“支えあい”のところが大切です

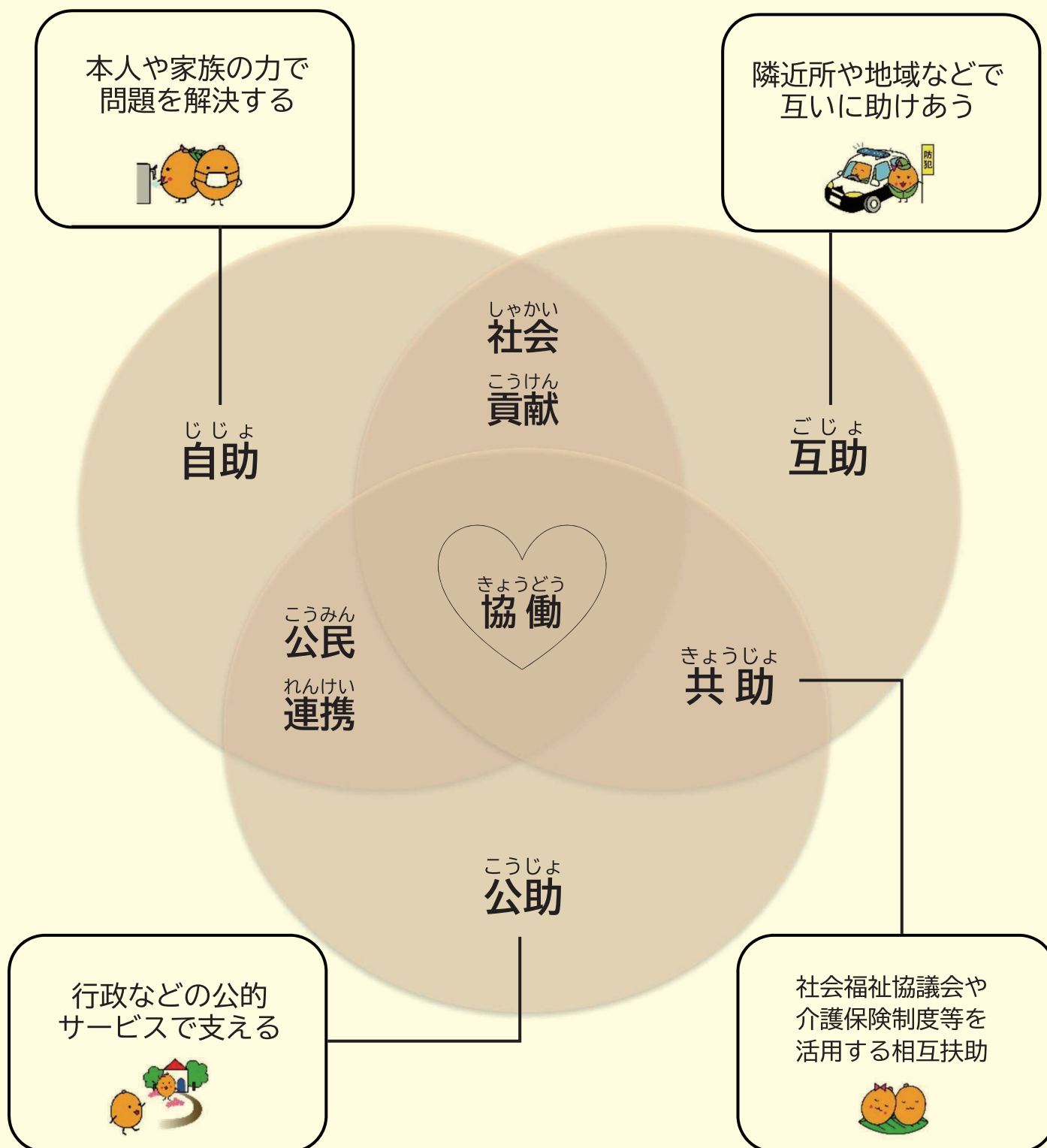
誰もが地域で安心して暮らしていくためには、個人や家族がまず自分たちでできることに取り組み、住民相互で助けあい、さらに公的な制度による福祉サービスと組み合わせて問題解決を図っていくなど、みんなが互いに支えあうところが大切です。

本町では、地域住民や地域の多様な主体が分野を超えて支えあう仕組みづくりや、関係機関との連携によって複合的な課題に対応できる重層的で多面的な取組を進めるとともに、地域の多様な活動に関わる人材の発掘・育成により、地域で問題を解決していく力や地域での支えあい・助けあいの力の底上げを目指します。

計画の基本的な考え方

様々な地域課題が顕在化する中で、住み慣れた地域で安心して自分らしく幸せに暮らしたいという願いを実現するためには、自助、互助、共助、公助といった重層的な取組が必要です。

本計画では、複雑化・複合化する課題に様々な関係機関が連携、協働して重層的に関わりながら、全ての住民が互いの人格と個性を尊重しながら支えあい、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに作っていく「地域共生社会」のまちづくりを目指します。

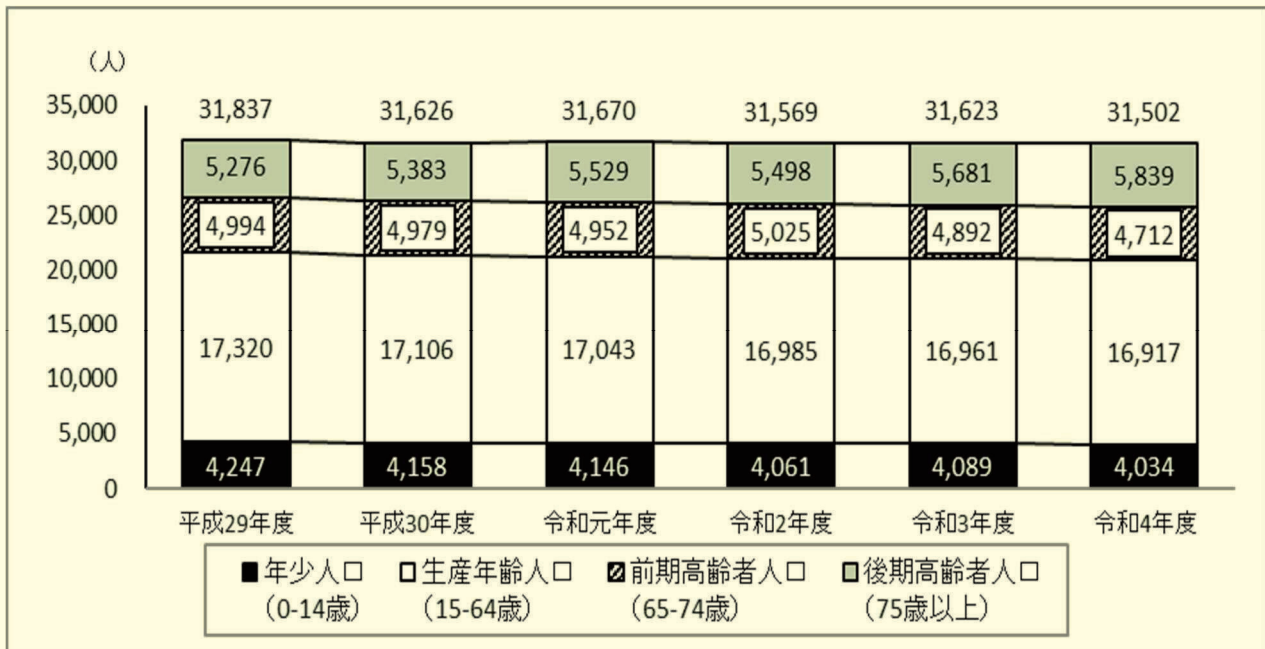




わたしたちの町の現状

❀ 少子高齢化の進行

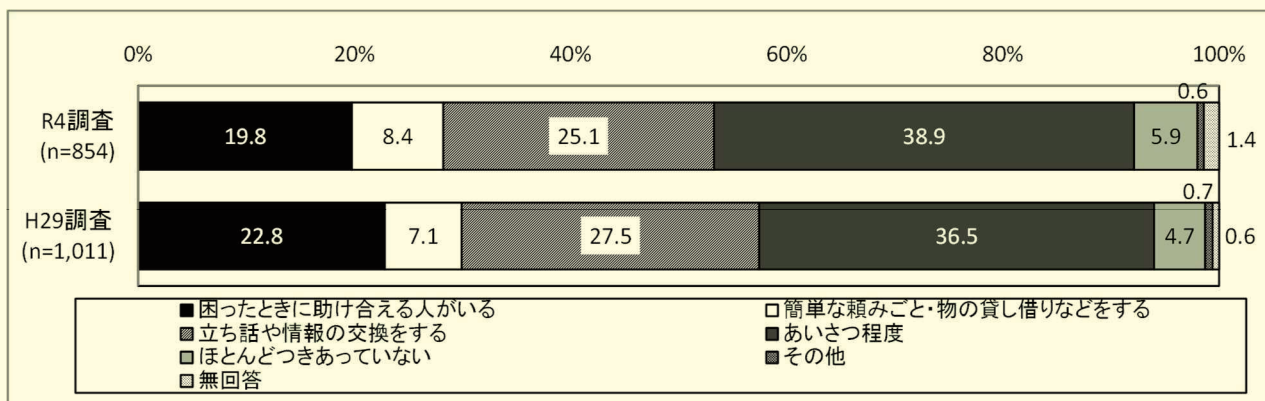
本町の総人口は減少傾向にあり、65歳以上の高齢者の割合が増加しています。一方で、0歳～14歳の年少人口や15歳から64歳の生産年齢人口は年々減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいます。



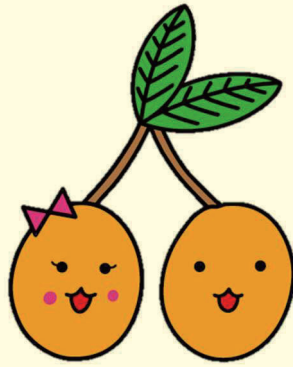
資料：住民基本台帳

❀ 近所付き合いの程度

住民意識調査の結果では、前回調査(平成29年)と比較すると、「困ったときに助け合える人がある」と回答した人の割合は減少したのに対して、「あいさつ程度」や「ほとんど付き合っていない」と回答した人の割合が増加していることから、地域のつながりが薄れてきていることがわかります。



資料：住民意識調査



岡垣町イメージキャラクター
びわりん & びわすけ

障害の「害」の表記について

これまで、本町では、国の法令用語等において、「障害」は漢字表記で統一的に使用されていること、「障害」とはその人自身を表すものではなく、社会との関係性の中にあるものであり、社会の側にあるものと考えていることから、「障害者」を「障害のある人」、「障害児」を「障害のある児童」と漢字で表記していました。

岡垣町福祉総合計画を策定するにあたり実施した住民意識調査を踏まえ、障害のある人が表記によって誤解や偏見を受けるおそれがあるのであれば、これを取り除く必要があると考え、本町においても「障害」を「障がい」、「障害のある人」を「障がいのある人」と表記します。

ただし、国は漢字表記であることから、法令等の名称及び法令等に基づく用語の名称のほか、人や人の状態を表さない場合は、ひらがな表記の対象外とします。

「岡垣町福祉総合計画」は岡垣町公式ホームページでも見ることができます。

ホームページアドレス <https://www.town.okagaki.lg.jp/>

検索キーワード

岡垣町 福祉総合計画

検索



【発行】

岡垣町

〒811-4233 福岡県遠賀郡岡垣町野間1丁目1番1号

TEL 093-282-1211（代表）

岡垣町社会福祉協議会

〒811-4234 福岡県遠賀郡岡垣町大字高倉598番地1

TEL 093-283-2940